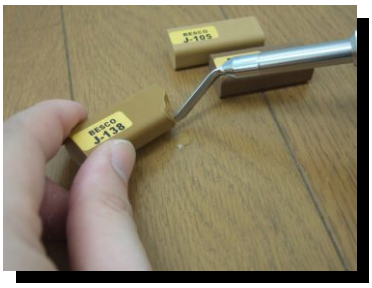
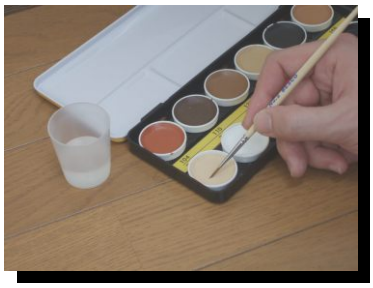
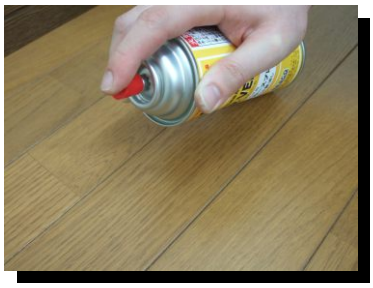
作業手順書

・打ち傷・ヘコミ傷・すり傷

床キズ補修の基本作業







BESCO

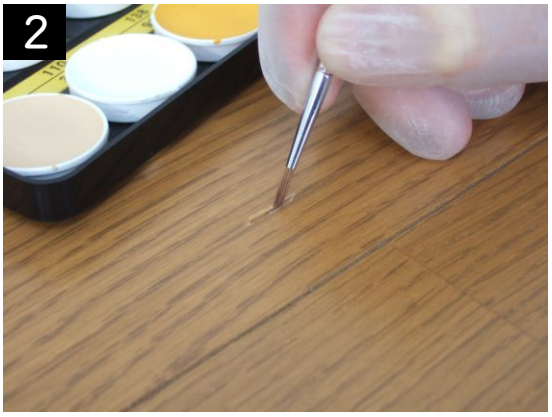
株式会社　ベ　ス　コ

基本編1 ：床キズ補修の基本作業

作業に適したワックス：ハードワックス-ジェイ・ハードワックス・スーパーハードワックス

事前処理

床についてしまったキズの補修を行います。事前処理として、キズ周辺のゴミや油分、キズ口に木片等がある場合は除去します。次に、ワックスコーボルトやスクレーパーを使用し、傷周辺の凹凸を平らにして下さい。



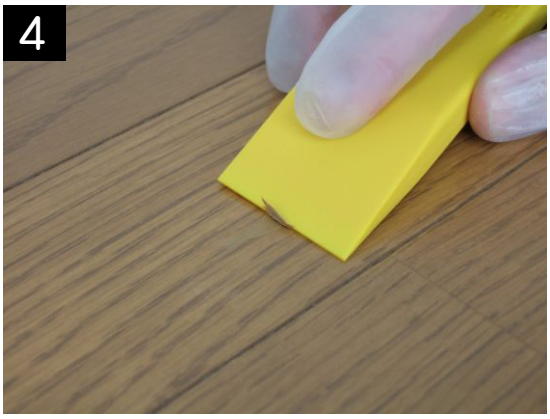
下地着色

ワックス充填後にキズ口の輪郭が出ないように、キズ周辺の色合いにあった、カラーパレットで縁を着色します。この時、キズ全体に着色しておくと、ワックスの吸い込みを防ぐシーリング効果が得られます。

※カラーパレットは、NCソルベントJで溶解しご使用下さい。

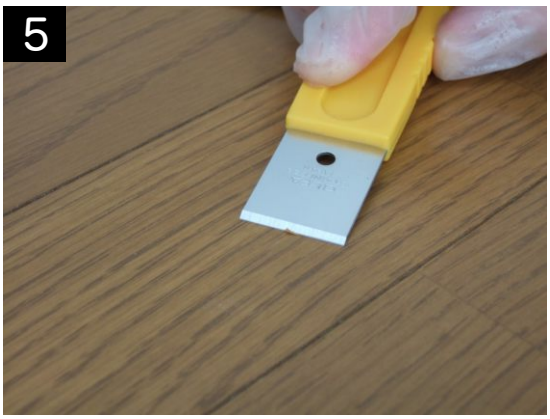
充填作業

キズ周辺の色合いに近いワックスを数色選び、電気ゴテで溶かしながら充填します。この時、床面より多少盛り上がる程度に充填してください。また、調色が必要な場合は、薄い色から徐々に濃い色を混ぜていくと効果的です。



平滑作業①

充填したワックスが十分に冷えたことを確認し、ワックスコーボルトを使って平滑作業を行います。この時、ワックスコーボルトを床面に対し立てて使用するのではなく、左の写真のように寝かせ、キズの前後をなでるように動かし摩擦熱を利用し除去して下さい。



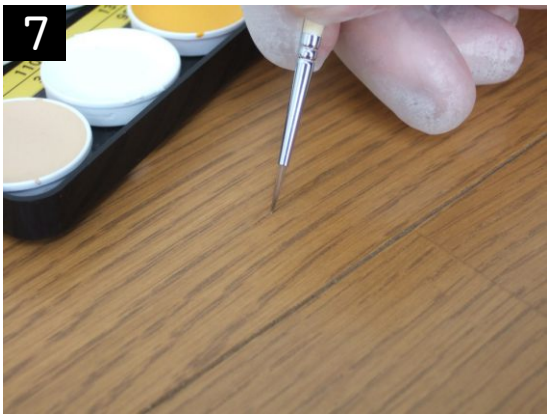
平滑作業②

ワックスコーボルトだけでは除去出来ないワックスを、スクレーパーを使って除去します。この時、周辺にキズをつけないように十分に注意して下さい。

※新品のスクレーパーの刃先は非常に鋭利な為、事前に刃先をならしてからご使用ください。

余分なワックスの最終除去

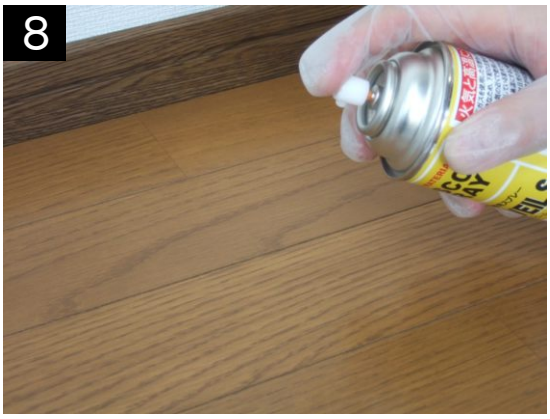
キズ口周辺に油膜状にこびり付いているワックスをリキッドサンドペーパーJで除去します。フェルトブロックにコットンを巻きつけ、数滴染み込ませてキズ口周辺だけをしっかりとふき取って下さい。



木目描き

木目が途切れている場合は、カラーパレットを使って木目描きを行って下さい。

※木目描きをする前に、キズ周辺に仕上げ用スプレーを軽く吹きつけておくと、カラーパレットの密着が良くなります。

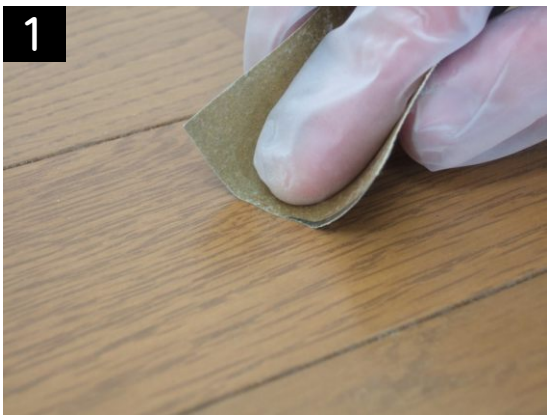


仕上げ

最後に補修箇所の保護と艶調整を行う為に、仕上げ用スプレーでコーティングし完成です。仕上げ用スプレーはキズ周辺の艶に合ったものを選択し、薄塗を重ねて艶あわせを行って下さい。

※スプレーをする際は、塗装面から20～30㎝離した距離から行い一度に厚塗りをしないようにご注意下さい。

応用編１ ：へこみキズの補修



下地処理

下地が見えていない浅いへこみキズの補修を行います。ワックスの密着性を高める為に#400～800程度のサンドペーパーで軽く目粗しを行って下さい。

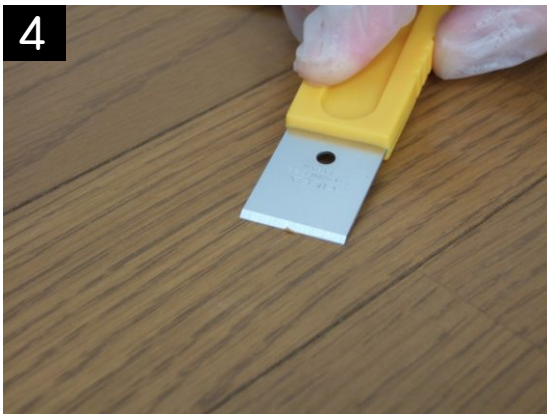
※下地が見えていたり、表面に亀裂が入っているへこみキズの場合は、通常の床補修作業を行って下さい。

充填作業

半透明タイプのワックス（色番号：901）を充填します。この時、電気ゴテに別色のワックスが残っていると、色混じりが起こってしまうので、リキッドサンドペーパーJを使用し、こて先を事前にきれいに拭き取ってから使用して下さい。

平滑作業①

充填したワックスが十分に冷えたことを確認し、ワックスコーボルトを使って平滑作業を行います。この時ワックスコーボルトを床面に対し立てて使用するのではなく、左の写真のように寝かせ、キズの前後をなでるように動かし摩擦熱を利用し除去して下さい。



平滑作業②

ワックスコーボルトだけでは除去出来ないワックスを、スクレーパーを使って除去します。この時、周辺にキズをつけないように十分に注意して下さい。

※新品のスクレーパーの刃先は非常に鋭利な為、事前に刃先をならしてからご使用ください。

余分なワックスの最終除去

キズ口周辺に油膜状にこびり付いているワックスをリキッドサンドペーパーJで除去します。フェルトブロックにコットンを巻きつけ、数滴染み込ませてキズ口周辺だけをしっかりとふき取って下さい。

充填箇所の目粗し

充填面のテカリを防ぐ為に、フェルトブロックで目粗しを行います。フェルトブロックを木目の方向にあわせ、軽くこすって下さい。

仕上げ

最後に補修箇所の保護と艶調整を行う為に、仕上げ用スプレーでコーティングし完成です。仕上げ用スプレーはキズ周辺の艶に合ったものを選択し、薄塗を重ねて艶あわせを行って下さい。

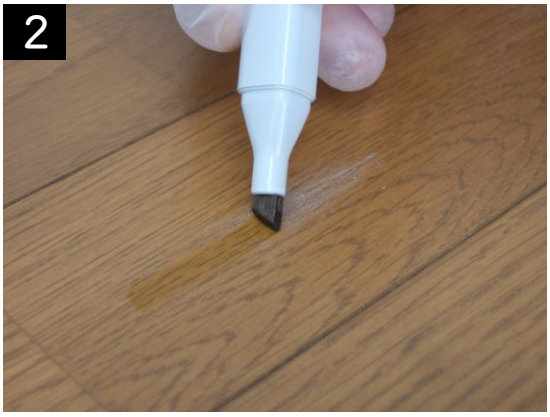
※スプレーをする際は、塗装面から20～30㎝離した距離から行い
一度に厚塗りをしないようにご注意下さい。

応用編２ ：すりキズの補修

すり傷の程度を確認する

表面のクリア層についてしまった、すりキズの補修を行います。この時、すりキズの表面を水でぬらし、キズが見えなくなる場合は、仕上げ用スプレーでコーティングするだけで、キズを補修できます。

※キズが深い場合は、通常の床補修作業を行って下さい。



着色作業

周囲の色にあったにグレインペンを選択し、着色をします。実際の色より少し薄めの色から試して着色し、染み込み過ぎないように数回に分けて着色して下さい。

拭き取り

グレインペンで着色したら、コットンで素早く拭き取ります。染み込み具合を確認しながら作業を行い、着色が不足している部分は、一度に厚塗りせずに、数回にわけて徐々に色を合わせていきます。

仕上げ

最後に補修箇所の保護と艶調整を行う為に、仕上げ用スプレーでコーティングし完成です。仕上げ用スプレーはキズ周辺の艶に合ったものを選択し、薄塗を重ね艶あわせを行って下さい。

※スプレーをする際は、塗装面から20～30㎝離した距離から行い
一度に厚塗りをしないようにご注意下さい。

株式会社 ベ ス コ

＜ご注文・製品に関するお問合せ先＞

【営業本部】

埼玉県朝霞市膝折町1-2-8
TEL 048-468-7163 FAX 048-468-7190
E-mail:info@besco.jp
http://www.besco.jp

＜直営店のご案内＞

【マイスタープロショップ】

埼玉県朝霞市東弁財3-15-17
TEL 048-450-0003